

上部西（中萩）地区集落において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月25日

新居浜市長 石川 勝行

記

1. 会合の対象とした区域

⑨上部西（中萩）地区(【中萩】旦の上、岸の下、萩生西、萩生東、馬淵、治良丸、上原、西の端、中通、土橋、本郷、横水、松木、小味地、大永山、須領)

2. 会合の結果を取りまとめた年月日

平成31年3月19日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	0 経営体
個人	4 経営体
集落営農（任意組織）	1 経営体

○ 農地の集積面積

6. 0ha（区域内の農地面積234ha、集積率3%）

4. 今後の地域農業の在り方

中萩地区は、東部は市街化されているが、西部（馬淵、岸の下、旦の上等）は比較的大きな広がりを持った優良な農地が見られる。地域に農振農用地（青地）の指定はない。萩生馬淵集落から岸ノ下集落にかけての JR 沿いも農地が広がっていたが、国道 11 号バイパスの整備が進んでおり、将来的には宅地化が進んでいくことと思われる。

アンケート調査の結果によると、農業については現状維持、農業を辞めたい、農業を縮小したいと考えている方が多く、農地の処遇については農地のまま売りたい、農地を貸したいとの回答が多い。そのため、担い手の確保が必要である。

また、イノシシ等による鳥獣害被害も出てきており、対策が必要である。